

第86回 理事会(平成16年度第6回)議事録

財団法人 神奈川県スキ一連盟

1. 日 時： 平成16年12月6日(月) 19:00~21:00
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館 4階第4研修室(横浜市神奈川区沢渡4-2)
3. 出席理事：(副会長) 古郡 敬一、野地 澄雄、山田 隆
(専務理事) 片 忠夫
(常務理事) 三塚 康雄、上田 英之、菊地 富士夫、越前谷芳隆
(理事) 柴田 秀一、本田 衛義、徳本 進、長久保 巖、川田 光代、
佐々木 生道、清水 忠、菊地 勇二、木村 徳善、百海 廷、
栗田 謙悟、平沢 幸一、斎藤 幸雄、吉岡 去私
欠席理事：(会 長) 河野 洋平、
(常務理事) 渡辺 三郎、
(理 事) 岡本 洋一
4. 出席監事： 井駒 利一、木村 信吉
5. 議長選出： 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出： 清水 忠理事、栗田 謙悟理事を選出
7. 書 記： 芦野 義明広報委員を指名
8. 議 事

1) 教育本部関係

(1) 報告事項

菊地理事より、別紙の通り下記行事についての報告がなされ、了承された。

- イ) 指導員養成講習会 理論 11月7日(木)
参加者：正指受験...48名、準指受験...110名
- ロ) 教育本部正副委員長会議開催 11月7日(日)
- ハ) 安全対策委員会開催 11月11日(木)
- ニ) 指導員研修会【理論】 11月13日(土)
講師：市野聖治氏 参加者：1146名、
- ホ) 指導員養成講習会 理論 11月14日(日)
参加者：正指受験...48名、準指受験...107名、
・12/1時点で準指受験145名、締切りを12/24に延長
- ヘ) 南関ブロック準備打合せ会議開催 11月20日(土)
- ト) 教育部会開催 11月20日(土)及び12月1日(水)
- チ) 正副委員長会議開催 11月26日(金)及び12月2日(木)
- リ) 南関東ブロック研修会 12月4日(土)~5日(日)
参加者：SAK...65名、SAC...21名
- ヌ) パトロール中央研修会 12月3日(金)~5日(日)
- ル) 書籍(教育関係)販売中間報告
・11月末日現在、販売合計金額は1854700円、12月末日販売予定。
- オ) 千葉県の指導員研修会の講師派遣 12月24日(金)~26日(日)
・山田耕太、栗田嘉哉
- ワ) 競技本部派遣
・第3回チャレンジカップ野辺山大会 12月17日(金)~19日(日)
山田耕太、角田直彦
・第6回神奈川県マスターズ等上越4連戦 1/21日(金)~25日(火)
長久保巖、古林康隆
・第3回チャレンジカップ岩岳大会 1月28日(金)~30日(日)
古林康隆、嘉代 雄

- ・第63回神奈川県スキー選手権 3月4日(金)～6日(日)
高橋功一、萩原裕史
- ・第3回チャレンジカップ野辺山大会 4月1(金)～3日(日)
佐々木徳吉、藤田浩介

(2) 審議事項

強化委員会体力測定開催について(事後処理報告)

菊地理事より、11月の理事会で強化合宿の追加行事の提案し承認を得たが、下記の行事に変更したとの提案がなされ、片専務理事より、強化選手を中心に実施することで承認された。

行事名：強化委員会体力測定

日時：H16年11月23日(火)

場所：神奈川大学平塚キャンパス、参加者：計8名(技選上位選手1名)

スキー技術選、準指検定会の検定員について

菊地理事より、別紙のとおり『神奈川・千葉スキー技術選手権大会』及び『準指導員検定会』検定員の提案がなされ、承認された。山田副会長より受験者も減っており、3班回しの運営方法を再検討し、次回の理事会に報告することの要望があった。

2) 競技本部関係

(1) 報告事項

菊地本部長より、別紙の通り下記行事に関しての報告がなされ、了承された。

イ) 競技本部セミナー(指導者、運営管理) 11月14日(日)

講師：古川 年正(SAJ理事 元シヨカリフムヘッド コーチ他2名)

参加者：役員3名、受講者42名

ロ) 競技本部拡大専門委員会 11月14日(日)

参加者：役員3名、専門委員22名

ハ) 神奈川県総合体育大会の今後について(報告：栗田理事)

・先月末に県スポーツ課と打合せした。内容は来季の予算は県の査定ベースで一律30%シリングが掛かり、大幅に削減される事が予測される。減額となった場合に県総体を運営していただけるかを各スポーツ団体にヒヤリングしている段階であり、スキー連盟としての取り組みを確認したいとの主旨であった。県連の回答は、今秋に各スキー協会の競技担当者との会合結果、運営費の一部負担をお願いするか県連としての課題となっているが、県総体は続けていきたいと回答した。

県教育庁としても予算を含めて今後の県総体の在り方について、来年4月には整理し、回答したいとの申し入れを受け、会議は終了した。当県連として、現地運営費もあり一律30%カットは出来ないが、参加費負担も考慮し取組んでいきたいとの報告があった。

ニ) 上越国際における第60回国体選考会他3連戦は予定どおり開催について

4連戦の時期は、気象庁の予報及び避難勧告の解除により危険性が少ない。また、高体連・中体連の大会も予定どおり津南町で開催するので、上越4連戦も予定どおり開催する旨の報告があった。

ホ) 競技本部アルペン競技者管理登録について

11月25日現在、一般880名・マスターズ140名で、昨年より一般は20名程少ないが、これからの追加登録を確認していく。

ヘ) 競技力向上選手強化合宿について 11月21日(日)～23日(火)

参加者：役員3名、選手7名

(2) 審議事項

競技本部アルペン大会運営指導員の認定について

菊地本部長より、11月14日(日)に競技本部セミナーを開催し、別紙のとおりSAK競技運営指導員の資格を取得したので、承認願いたい旨の提案がなされ、承認された。

SAJマスターズ公認神奈川県マスターズ名称変更について

菊地本部長より、神奈川県マスターズ大会の名称変更について、前回の理事会で野辺山の大会が現地委託で承認したが、大会名の審議はしなかった。公認申請をSAKがして、野辺山は運営する。役員の派遣はTDとレフェリーにとどめて、SAKからの持出し及び役員として携わるこ

とはないので承認願いたい旨の提案がなされ、承認された。

- ・新名称...第1回ジャパーナカップマスターズ選手権
- ・変更前...神奈川県マスターズ大会

強化合宿の宿舎変更について

菊地本部長より、強化合宿の宿舎を黒岩荘から八ヶ岳グレイスホテルに変更したい。理由は先月の競技力向上合宿で八ヶ岳グレイスホテルが、会議室・乾燥室等全ての面でふさわしいと思う。また強化委員会からも変更してほしいとの要望があり承認願いたい旨の提案がなされ、強化合宿のみとすることで承認された。片専務理事より黒岩荘は今までも協賛していただいているので、きっちり話をしておくことの指示があった。

加盟団体主催大会の公認について

菊地本部長より、川崎スキー協会から競技大会における県連の後援依頼の提案がなされ、書類も不備がなく承認された。

全中連大会での挨拶要請について

菊地本部長より、別紙のとおり神奈川県中学校スキー予選会が1月4日～5日に開催され、菊地本部長に出席要請がありましたので、出席する旨の提案がなされ、中体連からの後援申請書類を提出することで、承認された。

F I S 公認スノーボードクロス大会のレースキャンセルについて

菊地本部長より、1月に開催予定のF I S 公認スノーボードクロス大会はスポンサーが付かず中止とする。レースキャンセルの手続きに入っているとの提案がなされ、承認された。

3) 総務本部関係

(1) 報告事項

慶弔関係について

越前谷事務局長より、事務局員の伏屋真澄さんのご尊父が死去され、県連より生花・香典を出したとの報告があり、了承された。

登録状況について

長久保理事より、11月30日現在の登録人数は、一般5533名、高校生171名です。有資格者2277名、スノーボード有資格52名、検定員資格1730名、パトロール75名、加加5名である。全体的には減少傾向とみられるが追加登録に期待するとの報告があり、了承された。

ハンディキャップ委員会報告

越前谷事務局長より、H/C委員会は3回会議を開催、1月の五竜行事の準備を進めている。参加者は昨年並で、担当を決めるところである。それから皆さまにもお願いしました賛助会費は、12月3日現在、184000円集まりました。郵便局からまとめて連絡くるので、まだ数万あるようで当初計画の20万円は超えそうですとの報告がなされ、了承された。

北海道企画委員会報告

百海理事より、北海道の集客は316名で昨年比30名減となる。千葉県は今年の12名から24名に倍増した。ポールレッスンは参加者1名のため中止した。12月18日の強化合宿に現地のデモ2名が講習をすることになった。役員は38名で、総務本部からは7名の理事が参加することになったとの報告がなされ、了承された。

E 決済委員会報告

徳本理事より、E 決済は12月から申込み可となっているとの報告がなされ、了承された。

ウェア委員会報告

長久保理事より、一般用ウェアは赤色・青色各1セット、チーム11セットです。各クラブへ協力要請をしているとの報告がなされ、了承された。

協賛企業拡大状況報告

長久保理事より、27社で179万円の入金確認した。全39社あるが、再度未納企業に請求することになっているとの報告があり、了承された。

さらにスキー場協賛の評価を別紙のとおり算出してみた所、5万円以上を協賛しているスキー場を対象に、評議員会資料の参加人数から係数(教育1.3、競技0.6)を入れてみた。例えば、野辺山は平成16年度一人当たり61円の協賛金となり一番安く、2番目は白馬五竜の175円でこれは県総体が入り参加人員が増えたためである。これらを整理して協賛金アップをお願いする材料として考えているとの報告があった。

プリンター修理について

越前谷事務局長より、2000年と2001年に教育本部用に1台ずつ購入したが、その内の1台が壊れたので、修理したい。見積り金額は12000円程で修理時間が掛かるので、妥当か検討し決めたい。併せて新しいプリンター1台購入し、教育本部が使用することの報告があり、了承された。

車山 行事でのグッズ販売の協力について

上田総務本部長より、車山 雪上行事でSAKグッズ販売を予定している。協賛のBOYAさんが来て販売するとの報告がなされ、了承された。

(2) 審議事項

新潟中越地震義援金について

上田本部長より、新潟中越地震の募金は養成・研修会で29352円、川崎より5万円、横須賀雪友より2万円、各理事より計9万円、湘南ブロックより3万円で合計219352万となった。これに県連より不足分をたして義援金として支出すること、その送り先をどこにするかの提案がなされ、不足分の8万強を足して30万円を半々に分けて、新潟県と新潟県スキー連盟に送ることとし、神奈川新聞社を通じて送ること承認された。

片専務理事より、募金お礼の告知をホームページに載せることの指示があった。

SAJ会長名変更に伴う各種合格証などの所属加盟団体への送付料負担について

上田本部長より、SAJ会長が変更になり会員証は12月13日発行分からは新会長名、それ以前は旧会長名で届くので了承ください。また、合格証は現在印刷中で必要ならば請求してください。SAK所属団体の中でバッジテスト開催クラブへの連絡書送付のための通信費が掛かることの提案がなされ、承認された。

理論研修会用機材等の購入について

上田本部長より、教育本部は技術的な理論講演が多く、持ち運び可能なスクリーン・プロジェクター・パワードアンプ他(総額20万円程度)を1セット揃えたい。これによりどの会場でも理論講演が可能となるので購入したい旨の提案がなされ、片専務理事より機材をリースすることを検討し、今期はスクリーンのみ購入することで承認された。

Web簡易アップデートサポートソフトウェアについて

徳本理事より、ホームページへアップ用のソフトをソネット(株)高木氏へ依頼した。内容は取材記事を取材者本人が作成することが出来、担当理事・本部長が最終チェックしてホームページに掲載することになる。費用は税込み94500円で広報委員会予算から捻出することでの提案がなされ、承認された。

研修会費用の免除願いについて

長久保理事より、別紙のとおり16名の免除願い申請があり、理由は海外出張及び出産が多いとの提案がなされ、承認された。片専務理事から資格停止が絡むので、申請データはキチンと取ることの指示があった。

4) その他

シーズン中の無線機の貸出しについて

菊地本部長より、スキーシーズン中の無線機使用の管理を明確にしていってほしいとの要望があり、本田理事よりSAK事務所の壁に貸出し一覧表を貼るので、使用する方は必ず記入して使用することの回答があった。

車山 行事の教育本部対応について

古郡副会長より、今週末の車山 行事での教育本部の出席理事が少なくなっているが、雪不足もあり、さらに東京都連も一緒となり、対応は大丈夫か懸念しているとの意見が出され、山田副会長からも、教育本部理事の緊張感が足りないのではないかと、本部長も欠席、理事も1名のみ、専務理事も途中で帰るのでは、教育本部最大行事を執行することは、ほぼ不可能ではないのか。そのことを担当副会長が知らないで、行事に臨み対応不備で追求されることが心配である。最終的には理事本人が決めるのだが、評議員会でそのことが問題になることも予測される。野地副会長からは、副会長3名とも、それはまずいとの気持ちを持っている。スムーズな運営を考えると他の理事にも参加してもらい、万全の体制で臨むことがふさわしいと思いそのようお願いするとの要望が出された。

教育本部清水理事からは、再度調整して予測される問題に対し、対応できる体制を組みたい。見通し甘いとの指摘もあり大変申し訳なく、再検討しますとの回答があった。

木村監事からコメント

雪上行事が始まるが、会員には迷惑をかけないようにキチンとした運営をお願いするとの要望があった。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成16年 12月 22日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印